

# よかご通信

2010年7月・梅雨明け号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨

〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併587

Tel&Fax : 0967-62-3730

E-mail: [o2farm@aso.ne.jp](mailto:o2farm@aso.ne.jp)

O2FarmWeb : [www.aso.ne.jp/reisi](http://www.aso.ne.jp/reisi)



じめじめした梅雨ももうすぐ終わり。草取り担当の私は、少々の雨なら構わず作業を続ける毎日です。真夏の灼熱地獄よりは雨の方がマシですもの。それではさっそうく今月の田んぼや暮らしの様子をご紹介しますね。

成育が悪いと心配していた苗も、ようやく勢いが良くなりました。色は濃く、茎は太くなり、数も増えてきました。化学肥料を使わないので、ハラハラしながら見守っていた私たちは、少しだけ安心。でも・・・雑草の勢いも同じく増してきました。カモもコイも活躍してく

れてはいるのですが、それでも追いつかないくらいの勢い。コイは、水を濁らすことで草が生えてくるのを防ぎます。ただ、ちょっとでも浅い所があると、その部分は泳いでくれません。田植え前の代掻きで、しっかり平らに均したつもりでも、多少の高低差は必ずあるもの。泳がない場所があるとどうなるかという、一面の雑草天国。ちゃんとコイが泳いでいる場所でも、しぶとくはえてくる雑草もいます。というわけで、やはり最後は人力しかない！来る日も来る日も私が草取りをしているのは、そういうわけです。もちろん、子供達も手伝ってくれます。「あ、オモダカだ！」と目ざとく見つけて、きちんと根っこから抜いてくれる4歳の二人。キメ台詞が笑えます。「さすが農家の息子、って言ってよ」ですって(笑)。はいはい、さすが農家の息子。



カモも活躍中。でも、今年は苗が小さかったためか、それともカモが例年より大きいせい、苗がずいぶん倒されてしまったのです。あわててカモを他の田んぼに移し、すかさず植え直し。こんな時のために、余った苗を田んぼの隅に植えておいたのです！でも、こんな時期に植えても、ちゃんと実ってくれるかなあ？遅すぎると、「未熟米」というのになってしまうのです。かなりギリギリの時期。でも何もしないよりはましかもしれない。そんな思いで慌てて植えました。

そのカモ。怪我をして1羽が死んでしまいました。無駄死にさせてなるものか、というわけで、さばいていただくことに。カモをかわいがっている子供たちに何て言おうかとあれこれ悩んだ末、いつかはその時が来るのだから、と正直に話したところ、あっさりと「わー、食べる！」ですって。たくましいというか、切り替えが早いというか。羽をむしるところまでは一緒にやりましたが、さばく頃にはとっくに飽きて、羽を握ってどこかに消えてしまいました。赤ワインをたっぷ



り入れてトマト煮にしたところ、うーん、泥くさい。子供たちも「かたい」と言って、あまり食べてくれません。私だけが「まずくはない」と意地をはって(?) もりもり食べたくらい。毎年食べ頃になるとキツネやイタチにやられていたのですが、今年こそは精肉してクリスマスにでも、と思っていたところ。少し考えなければいけないようです。良い方法や調理法をご存知の方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えて下さいね。



農作業とは直接関係ないのですが、研修生・ババミキさんのお父様が鉄工所をされているとのことで、以前から溶接を試みたかった耕太のリクエストにより「第一回溶接講座」を開催しました。ちょうど雨の日だったので、農作業もお休み。溶接ができると、ちょっとした機械の修理などが自分でできるようになるので、ぜひ第二回の講座も開きたい様子です。

農作業以外の話題をもう一つ。なんと、東京大学で講義をしてきました！「地球環境論」などという難しい名前の授業に、講師として呼んでいただいたのです。受講生は約150名。現場の声を聞かせてほしい、というリクエストだったので、O2ファームのことを話したり、私が取り組んできた草原保全のNPOのことを話したり。そして最後には感想や意見の代わりに詩を書いてもらうことにしました。たかだか1時間半の講義を聴いた学生さんから、今後の農業はどうあるべきだ、などという意見を聞くよりも、若い彼らの感性をいかした詩のほうが私にとってずっとおもしろいからです。詩なんて書けない、とボヤキながらもけっこう熱心に書いてくれた学生さんたち。「彼らにまだこんな感性や文章力があつたのか」と担当教授がびっくりするほどの力作がいくつもありました。農繁期なので、実家でゆっくりする暇も無く1泊のとんぼ返りではありましたが、まさか東大で授業をすることになるなんて思ってもいませんでしたので、ちょっとした刺激になりました。

オーストラリアからアンドリュー君が“農業体験”に来てくれました。ガールフレンドが熊本にいるのだそうです。一緒に草取りをしてくれたのはいいのですが、何しろでかい！180cmは優に超えている彼。足の大きさも半端ではありません。苗を倒されないかとヒヤヒヤする私。本人もずいぶん気をつけてくれたようで、苗はほとんど無事でしたが、草取りの効果はいまいち。結局、私がもう一度やり直しました。トホホ。でも、初めて田んぼに入ったと言って喜んで帰ったので、よしとしましょう。彼のご両親は、趣味の農場を持っているのだそうですが、その規模がなんと「ほんの300haくらい」ですって。豪州の専業農家は、1000haとか、2000haとか。日本の平均的な耕作面積は1.5ヘクタール。作物が異なるので単純には言えませんが、あまりの違いに思わず笑ってしまいました。



梅雨の合間にタマネギやジャガイモを収穫。春が寒かったため、今年は何の作物も小ぶりです。梅雨があければいいよ夏本番。どうぞ皆さま、楽しい夏をお過ごし下さい。先月もお知らせしましたが、お米にも虫が発生しやすい季節です。できるだけ冷暗所で保管して頂きますよう、お願い申し上げます。もし可能ならば、密閉容器に移して、冷蔵庫で保管するのが一番鮮度も保たれるようです。